

みずほマーケット・トピック(2016 年 1 月 29 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが「3.本日のトピック」はお休みとさせていただきます。『中期為替相場見通し』は2月1日(月)に発行致します。

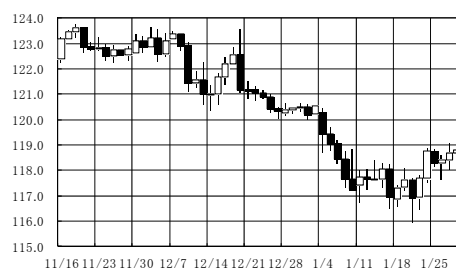
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ BK Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は上値重い展開。週初 25 日に 118 円台後半でオープンしたドル/円は、先週末に市場心理が改善した流れを引き継ぎ、日経平均株価が 1 万 7000 円を回復して寄り付くと、ドル/円は底堅く推移し、118.85 円まで上昇。その後は原油価格や欧米株価が下落し、米金利が低下するなどリスク回避ムードが強まると 118 円台前半まで下落した。26 日にかけても日経平均株価が下げ幅を拡大すると、ドル/円は一時週安値となる 117.65 円まで値を下げた。しかし、「サウジアラビアとロシアが原油の生産調整に向けて協議」との報道に原油価格が反発すると、ドル/円は 118.60 円付近まで上昇。27 日は、中国株が軟調に推移したこともあり、一時 118 円付近まで下落したが、米国時間にかけて原油価格が上昇する動きにドル/円は FOMC 前に 119 円ちょうどまで上昇した。注目の FOMC 声明文直後、ドル/円は一時週高値となる 119.08 円まで上昇したものの、利上げ路線の継続が確認される中、NY ダウ平均が大幅下落となったことを受けて、118 円台半ばまで下押しされた。28 日は翌日に日銀金融政策決定会合を控え、ドル/円は 118 円台で方向感に乏しい値動きが続いた。会合を控えた本日午前も目立った動意が見られない地合いとなっている。
- ・今週のユーロ相場は上昇する展開。週初 25 日に 1.08 近辺でオープンしたユーロ/ドルは、一時週安値となる 1.0789 をつけるも、原油安などを背景にリスク回避ムードが強まるとユーロは買い進められ、1.08 台後半まで上昇した。26 日には FOMC を前にドル売りが手控えられ、独 2 年債が過去最低金利を記録したことなども相俟ってユーロ/ドルは 1.08 台前半まで値を下げた。その後、原油高、株高を受けてユーロ/円が上昇する動きにサポートされ、FOMC を控えた持ち高調整のドル売りが散見される中、ユーロ/ドルは 1.08 台後半ばまで上昇した。27 日はユーロ/スイスフランが上昇する動きに連れてユーロ/ドルは 1.09 台前半まで上昇するも、ドル買い優勢の動きに 1.08 台後半まで下落。FOMC 声明文の発表後は、ユーロ買い戻しが強まり 1.09 台前半まで値を戻した。28 日のユーロ/ドルは欧州時間にかけて 1.08 台後半まで値を下げるも、スイス中銀のユーロ買い介入観測が拡がると、ユーロ/ドルは 1.09 台前半まで上昇。更に、原油高や米金利低下を背景に週高値となる 1.0968 まで値を伸ばした。本日にかけては小幅に売り戻され、1.09 台前半で推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		1/22(Fri)	1/25(Mon)	1/26(Tue)	1/27(Wed)	1/28(Thu)
ドル/円	東京9:00	117.93	118.56	118.23	118.39	118.49
	High	118.88	118.85	118.63	119.08	118.99
	Low	117.54	118.18	117.65	118.05	118.41
	NY 17:00	118.80	118.29	118.43	118.68	118.83
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0858	1.0797	1.0853	1.0863	1.0902
	High	1.0876	1.0857	1.0875	1.0918	1.0968
	Low	1.0789	1.0789	1.0819	1.0851	1.0870
	NY 17:00	1.0800	1.0851	1.0870	1.0894	1.0938
ユーロ/円	東京9:00	128.06	128.03	128.33	128.62	129.19
	High	128.43	128.55	128.74	129.48	130.22
	Low	127.43	127.86	127.85	128.27	128.95
	NY 17:00	128.27	128.37	128.70	129.21	129.97
日経平均株価		16,958.53	17,110.91	16,708.90	17,163.92	17,041.45
TOPIX		1,374.19	1,392.63	1,360.23	1,400.70	1,392.10
NYダウ工業株30種平均		16,093.51	15,885.22	16,167.23	15,944.46	16,069.64
NASDAQ		4,591.18	4,518.49	4,567.67	4,468.17	4,506.68
日本10年債		0.24%	0.23%	0.22%	0.21%	0.23%
米国10年債		2.05%	2.00%	1.99%	2.00%	1.98%
原油価格(WTI)		32.19	30.34	31.45	32.30	33.22
金(NY)		1,098.00	1,107.96	1,119.92	1,124.95	1,115.34

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、1 日(月)に 12 月 ISM 製造業景気指数、5 日(金)に 1 月雇用統計が発表される。11 月 ISM 製造業景気指数は市場予想を大幅に下回り、2009 年 6 月以来の低水準を記録(50 割れは 2012 年 11 月以来)するなどネガティブサプライズであった。背景には米経済が直面するドル高と海外経済不調という 2 つの要因があると見られる。12 月にかけても引き続きドル高基調となっているほか、海外経済も回復の動きは弱く、製造業景気指数は低調な結果になる見込み。また、1 月雇用統計では、調査週に当たる 1 月第 3 週(12 日を含む週)の新規失業保険申請件数が、趨勢を示す 4 週移動平均で 28.5 万件と 12 月調査週の 27.3 万件から増加した。こうした先行指標の結果を受けて、市場では 1 月の非農業部門雇用者数は前月比+20.0 万人と 12 月(同+29.2 万人)から鈍化すると予想されている。FRB の初回利上げを後押しした 11・12 月雇用統計の好調は、クリスマスシーズンによる一時的な動きと見る向きも多い。足許では、製造業を中心に景況感の悪化や生産の減少が確認されている。もし、1 月の雇用統計で市場予想以上の大幅な減速が見られるようであれば、米経済への悲観的なムードが広がり、市場の利上げ織り込みはさらに低下する可能性が高い(現状で 4 月にかけての利上げ織り込みは 3 割を下回っている)。このほか、1 日(月)は 12 月個人所得/支出、12 月 PCE デフレーター、3 日(水)に 1 月 ADP 雇用統計、1 月 ISM 非製造業景気指数、5 日(金)に 12 月貿易収支が発表される。政治日程をみると、1 日(月)に大統領選のアイオワ州党員大会が開催される。共和党、民主党ともに同大会と皮切りに党内の候補者選びが進む予定である。
- ・ 欧州では、2 日(火)に 12 月ユーロ圏生産者物価指数(PPI)、12 月ユーロ圏失業率、3 日(水)に 12 月ユーロ圏小売売上高、4 日(木)に英中銀(BOE)金融政策決定会合が予定されている。BOE の政策決定会合では現状の金融政策が維持される見込みである(市場予想:現状据え置き)。カーニーBOE 総裁は 19 日に 2015 年夏以降の経済情勢は「引き締めには不十分」とし、「予想していたインフレ圧力の高まりが実現するにはまだ時間がかかる」との旨を述べている。他の委員からも利上げに対して消極的な発言が相次いでおり、当面 BOE は現状維持を継続すると見られる。
- ・ 本邦では、1 日(月)に 1 月新車販売台数、3 日(水)に 12 月日銀政策決定会合議事要旨、基調的なインフレ率を補足するための指標(最頻値、加重中央値)が、5 日(金)に 12 月景気動向指数(速報)が発表される。政治日程では、4 日(木)にニュージーランドで TPP(環太平洋経済連携協定)署名式が予定されている。

	本 邦	海 外
1 月 29 日(金)	-----	・米 10～12 月期雇用コスト ・米 10～12 月期 GDP(1 次速報) ・米 1 月ミシガン大学消費者マインド指数(確報) ・米 1 月シカゴ購買部協会景気指数 ・ユーロ圏 1 月消費者物価(速報)
2 月 1 日(月)	・1 月自動車販売台数	・米 1 月個人所得・消費 ・米 12 月建設支出 ・米 1 月 ISM 製造業景気指数
2 日(火)	・1 月マネタリーベース	・ユーロ圏 1 月失業率
3 日(水)	・基調的なインフレ率を補足するための指標(最頻値、加重中央値)	・米 1 月 ADP 雇用統計 ・米 1 月 ISM 非製造業景気指数
4 日(木)	-----	・米 10～12 月期労働生産性(速報) ・米 12 月製造業新規受注
5 日(金)	・12 月景気動向指数(速報)	・米 1 月雇用統計 ・米 12 月貿易収支 ・米 12 月消費者信用残高 ・独 12 月製造業受注

【当面の主要行事日程(2016 年 2 月～)】

ユーロ圏財務相会合、EU 経済財務相理事会(ECOFIN)(2 月 11 日～12 日)
 ECB 理事会(3 月 10 日、4 月 21 日、6 月 2 日)
 米 FOMC(3 月 15～16 日、4 月 26～27 日、6 月 14～15 日)
 日銀金融政策決定会合(3 月 14～15 日、4 月 27～28 日、6 月 15～16 日)

国際為替部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー(2016年2月)

月	火	水	木	金	週末
1 日本 自動車販売台数(1月) 米国 個人所得・消費(1月) 米国 建設支出(12月) 米国 ISM製造業景気指数(1月)	2 日本 マネタリーベース(1月) ユーロ圏 失業率(1月)	3 米国 ADP雇用統計(1月) 米国 ISM非製造業景気指数(1月)	4 米国 労働生産性(速報、10～12月期) 米国 製造業新規受注(12月)	5 日本 景気動向指数(速報、12月) 米国 雇用統計(1月) 米国 貿易収支(12月) 米国 消費者信用残高(12月) ドイツ 製造業受注(12月)	
8 日本 金融政策決定会合(主な意見) 日本 国際収支(12月) 日本 貸出・預金動向(1月) 日本 景気ウォッチャー調査(1月) 日本 企業倒産件数(1月) ドイツ 鉱工業生産(12月)	9 日本 マネーストック(1月) 米国 卸売売上高(12月) ユーロ圏 消費者物価(速報、12月) ドイツ 貿易収支(12月)	10 日本 企業物価(1月) 米国 財政収支(1月)	11 日本 建国記念日 ユーロ圏 財務相会合	12 米国 小売売上高(1月) 米国 企業在庫(12月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、2月) ユーロ圏 鉱工業生産(12月) ユーロ圏 GDP(速報、10～12月期) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ECOFIN) ドイツ GDP(速報、10～12月期)	
15 日本 GDP(速報、7～9月期) 日本 鉱工業生産(確報、12月) 日本 第三次産業活動指数(12月) ユーロ圏 貿易収支(12月)	16 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(2月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、12月) ドイツ ZEW景況指数(2月)	17 日本 機械受注(12月) 米国 住宅着工(1月) 米国 生産者物価(1月) 米国 鉱工業生産(1月) 米国 FOMC議事要旨(1月26～27日開催分)	18 日本 貿易収支(1月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(2月) 米国 景気先行指数(1月) ユーロ圏 国際収支(12月) ユーロ圏 EU首脳会議(ブリュッセル、～19日)	19 米国 消費者物価(1月)	
22	23 米国 S&P/ケース・シラー住宅価格(12月) 米国 中古住宅販売(1月) 米国 消費者信頼感指数(2月) ドイツ GDP(確報、10～12月期) ドイツ IFO企業景況感指数(2月)	24 日本 景気動向指数(確報、12月) 日本 企業向けサービス価格(1月) 米国 新築住宅販売(1月)	25 米国 耐久財受注(1月) ユーロ圏 消費者物価(確報、1月)	26 日本 全国消費者物価(1月) 日本 東京都都区消費者物価(2月) 米国 GDP(2次速報、10～12月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、2月) 米国 個人所得・消費(1月)	
29 日本 鉱工業生産(速報、1月) 日本 商業販売統計(1月) 日本 新設住宅着工(1月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(2月) ユーロ圏 消費者物価(速報、2月)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2016年3月)

月	火	水	木	金	週末
	1 日本 労働力調査(1月) 日本 家計調査(1月) 日本 自動車販売台数(2月) 日本 法人企業統計(10～12月期) 米国 ISM製造業景気指数(2月) 米国 建設支出(1月) ユーロ圏 失業率(1月)	2 日本 マネタリーベース(2月) 米国 ADP雇用統計(1月) 米国 ページブック	3 米国 労働生産性(確報、10～12月期) 米国 ISM非製造業景気指数(2月) 米国 製造業新規受注(1月)	4 米国 雇用統計(2月) 米国 貿易収支(2月)	
7 日本 景気先行指数(速報、1月) 米国 消費者信用残高(1月) ユーロ圏 財務相会合 ドイツ 製造業受注(1月)	8 日本 GDP(確報、10～12月期) 日本 国際収支(1月) 日本 貸出・預金動向(2月) 日本 景気ウォッチャー調査(2月) 日本 *企業倒産件数(2月) ユーロ圏 GDP(速報値、10～12月期) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ECOFIN) ドイツ 鉱工業生産(1月)	9 日本 マネーストック(2月) 米国 卸売売上高(1月)	10 日本 企業物価(2月) 米国 財政収支(2月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) ドイツ 貿易収支(1月)	11 日本 法人企業景気予測調査(1～3月期)	
14 日本 金融政策決定会合(～15日) 日本 機械受注(1月) ユーロ圏 鉱工業生産(1月)	15 日本 鉱工業生産(確報、1月) 日本 第三次産業活動指数(1月) 米国 小売売上高(2月) 米国 生産者物価(2月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(3月) 米国 企業在庫(2月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、1月)	16 米国 住宅着工(2月) 米国 消費者物価(2月)	17 日本 貿易収支(2月) 米国 経常収支(10～12月期) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(3月) 米国 景気先行指数(2月) ユーロ圏 EU首脳会議(ブリュッセル、～18日) ユーロ圏 貿易収支(1月) ユーロ圏 消費者物価(確報、2月)	18 日本 日銀金融政策決定会合議事要旨(1月28～29日開催分) 米国 FOMC(～19日) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、3月)	
21 日本 春分の日 米国 中古住宅販売(2月) ユーロ圏 国際収支(1月)	22 ドイツ ZEW景況感指数(3月) ドイツ IFO企業景況感指数(3月)	23 米国 新築住宅販売(2月)	24 日本 日銀金融政策決定会合(主な意見) 米国 耐久財受注(2月)	25 日本 全国消費者物価(2月) 日本 東京都都区消費者物価(3月) 日本 企業向けサービス価格(2月) 日本 景気先行指数(確報、1月) 米国 GDP(10～12月期)	
28 米国 個人所得・消費(2月)	29 日本 金融政策決定会合・展望レポート 日本 労働力調査(2月) 日本 家計調査(2月) 日本 商業販売統計(2月) 米国 S&P/ケース・シラー住宅価格(1月) 米国 消費者信頼感指数(3月)	30 日本 鉱工業生産(速報、2月) 米国 ADP雇用統計(3月)	31 日本 新設住宅着工(2月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(3月) ユーロ圏 消費者物価(速報、3月)		

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html>

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年1月28日	FOMC(1月26～27日開催分)を受けて
2016年1月27日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2015年12月分)
2016年1月26日	ドラギ総裁講演について～崩れるインフレ期待の「壁」～
2016年1月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～静観する勇氣～
2016年1月22日	週末版(ECB理事会を終えて～2連敗は避けられるか?～)
2016年1月21日	円相場の調整余地を探る～試される日銀～
2016年1月20日	ユーロ相場を巡る最近の証券投資フローについて
2016年1月19日	ECB理事会プレビュー～ECB版の補完措置へ向けて～
2016年1月18日	「あく抜け」に求められるもの～人民元の完全フロート化～
2016年1月15日	週末版(ECB理事会議事要旨について～ドラギマジック、「初の黒星」の舞台裏～)
2016年1月14日	厳しくなってきたFRBの「瘦せ我慢」
2016年1月13日	本邦11月国際収支統計と円相場の需給について
2016年1月12日	Game changerになれなかった米12月雇用統計
2016年1月8日	週末版(中国外貨準備減少の正しい読み方～トリレンマの「総取り」はいつまでも出来ない～)
2016年1月7日	FOMC議事要旨～「ハト派なタカ派」を再確認～
2016年1月5日	119円台前半の意味～想定為替レートとの対比～
2016年1月4日	2016年の為替見通しポイント～過去2年との違い～
2015年12月28日	2015年の為替相場総括～為替従属強まる日米欧中銀～
2015年12月25日	週末版【暫定版】中期為替相場見通し～ユーロ相場～
2015年12月24日	【暫定版】中期為替相場見通し～ドル/円相場～
2015年12月22日	完全雇用の背後にあるもの～景気と雇用のズレ～
2015年12月21日	日銀金融政策決定会合～QQE2.5の読み方～
2015年12月18日	週末版
2015年12月17日	FOMCを終えて～ドル/円見通しに影響なし～
2015年12月16日	日米金利差から見る現状のドル/円相場
2015年12月14日	日銀短観12月調査～後がない想定為替レート～
2015年12月11日	週末版(ECBのバランスシート拡大について～「2016年6月」に向けての進捗状況～原油価格下落のG3通貨への含意)
2015年12月9日	原油価格下落のG3通貨への含意
2015年12月8日	本邦10月国際収支統計と円相場の需給について
2015年12月7日	ECBはどうしたら踏み込むのか?今後のユーロ相場は?
2015年12月4日	週末版(ECB理事会を終えて～「故意的な失望」は転ばぬ先の杖か～)
2015年12月3日	イエレン講演や限界に迫るドル買い相場
2015年12月2日	実質実効為替相場(REER)で見る、ドル相場・円相場
2015年12月1日	ECB理事会プレビューの補足～超日銀化現象～
2015年11月27日	週末版
2015年11月26日	追加緩和後のユーロ相場～また、「下落の時代」?～
2015年11月25日	ECB理事会プレビュー(12月3日開催分)～3つの緩和メニュー～
2015年11月24日	ECB理事会議事要旨～「未知の領域」への不安も～
2015年11月20日	週末版
2015年11月17日	本邦7～9月期GDPを受けて～最近のULC動向～
2015年11月16日	仏同時多発テロを受けて～政治統合か、瓦解か～
2015年11月13日	週末版(ドル調達コストの急騰について～「割に合わない」ムードが強まる対外証券投資～)
2015年11月12日	12月ECB緩和を阻むもの～戻ってしまったインフレ期待～
2015年11月11日	米輸入物価下落が示す「不況の輸入」
2015年11月10日	本邦9月国際収支統計と円相場の需給について
2015年11月9日	米10月雇用統計を受けて～問題は「何回できるか」～
2015年11月6日	週末版(ECBの「次の一手」を考える～預金ファンシリティ金利のマイナス幅はどこまでいくのか～)
2015年11月4日	3度目の正直に挑む、ドル/円相場の年間値幅
2015年11月2日	日銀金融政策決定会合を終えて～幻滅リスク回避も・・・～
2015年10月30日	週末版
2015年10月29日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2015年9月分)
2015年10月28日	FOMC声明文のプレビュー～注目すべき3点～
2015年10月27日	振り出しに戻った投機筋の円売り～2つの理由～
2015年10月26日	ECB緩和予告は日銀を追い詰めたと言えるのか?
2015年10月23日	週末版(ECB理事会を終えて～止まりそうにない金融政策の通貨政策化～)
2015年10月21日	米為替政策報告書について～我慢の限界は近い?～
2015年10月20日	日銀金融政策決定会合プレビュー(10月30日開催分)
2015年10月19日	ECB理事会プレビュー(10月22日開催分)
2015年10月16日	週末版(ユーロ相場の乱高下を受けて～迫るHICPのマイナス常態化と追加緩和～)
2015年10月15日	米利上げを再検討すべき時期に
2015年10月14日	ドイツ経済に見られ始めた失速の兆候
2015年10月13日	正当性を増すブレイナードFRB理事のスタンス
2015年10月9日	週末版(ECB理事会議事要旨(9月2～3日開催分)～崩れるインフレ期待?～)
2015年10月8日	本邦8月国際収支統計と円相場の需給について
2015年10月7日	IMF秋季世界経済見通し～利上げ不安は高まるばかり～
2015年10月6日	「利上げの好機」を逸したか～待ちくたびれる雇用回復～
2015年10月5日	米9月雇用統計～皮肉な円安シナリオの延命も?～
2015年10月2日	週末版(外貨準備構成通貨の内訳(15年6月末時点)～中国報告開始の影響を考える～)
2015年10月1日	日銀短観9月調査～追加緩和の行方は?～
2015年9月29日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2015年8月分)
2015年9月28日	物価測度に照らしたドル/円相場の現状と展望
2015年9月25日	週末版(名目GDP600兆円への道～新「3本の矢」が目指すところ～)
2015年9月24日	欧州難民危機は統合深化の試金石に
2015年9月18日	週末版(FOMCを終えて(9月16～17日開催分)～糊代論への未練がましい執着～)
2015年9月17日	日銀4～6月期資金循環統計について
2015年9月16日	判断を迫られる通貨・金融政策～株価が実質買金か～
2015年9月15日	投機筋の円ショート縮小をどう読むか?～その②～
2015年9月14日	ポスト債務危機の様相を呈してきた欧州難民危機
2015年9月11日	週末版(ドル/円相場の水準感～上値と下値の用途の考え方～)
2015年9月10日	ユーロ圏経済の現状と展望及びユーロ相場について
2015年9月8日	本邦7月国際収支統計と円相場の需給について
2015年9月7日	アンカラG20を終えて～分があるのはどちらの主張か～
2015年9月4日	週末版(ECB理事会を終えて～FOMCIに先手を打ったECB～)
2015年9月3日	ECB理事会プレビュー～APP延長示唆か?～
2015年9月2日	国際金融のトリレンマから読む中国の外貨準備減少
2015年8月28日	週末版
2015年8月27日	世界同時株安で台頭する「リスク回避のユーロ買い」②
2015年8月26日	混乱を受けたドル/円相場の見直し改定について【暫定】
2015年8月25日	円相場の観点で見つめ直す日経平均株価の水準感
2015年8月24日	世界同時株安で台頭する「リスク回避のユーロ買い」
2015年8月21日	週末版(FOMC議事要旨(7月28～29日開催分)を受けて～「断固たる覚悟」は見えず～)
2015年8月19日	本邦7月貿易統計を受けて